

表紙・目次等

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジア通貨危機：その原因と対応の問題点
発行年	2000
出版者	日本貿易振興会アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00012497

アジア通貨危機

——その原因と対応の問題点——

国宗浩三編

アジア通貨危機

——その原因と対応の問題点——

国宗浩三編

アジア経済研究所

アジア通貨危機

くにむね	こうぞう	
国宗	浩三	(アジア経済研究所開発研究部)
こうさか	あきら	
高阪	章	(大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)
えんきよ	そういち	
円居	総一	(日本大学国際関係学部教授)
わたなべ	しんいち	
渡辺	慎一	(国際大学大学院国際関係学研究科教授)
おだ	ひさや	
小田	尚也	(アジア経済研究所地域研究第1部)
たけだ	みき	
武田	美紀	(アジア経済研究所開発分析プロジェクト・チーム)
ごとう	やすお	
後藤	康雄	(三菱総合研究所経済調査部)
かしわばら	ちえ	
柏原	千英	(アジア経済研究所開発研究部)

— 執筆順 —

アジア通貨危機

— その原因と対応の問題点 —

研究双書501

2000年1月13日発行©

編 者 国宗浩三

発行所 日本貿易振興会 アジア経済研究所

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2-2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9536

FAX 043-299-9726

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04501-2



研究双書No. 501

国宗浩三編『アジア通貨危機——その原因と対応の問題点』

Ajia Tsuka Kiki : Sono Gen'in to Taiō no Mondaiten

(Asian Currency Crisis : Cause and Problems in Prescription)

Edited by

Kōzō KUNIMUNE

Contents

Introduction Macroeconomic Framework and Overview of the Book (Kōzō KUNIMUNE)

Part I General Analysis

Chapter 1 The Asian Economic Crisis under the Financial Globalization
(Akira KOHSAKA)

Chapter 2 The Root Cause of Asian Crisis and Its Implications for the International
Monetary Cooperation (Sōichi ENKYO)

Part II Specific Analysis

〈Case Study〉

Chapter 3 The Currency Crisis and Growth Path of Indonesia (Shin'ich WATANABE)

〈Mechanisms of Crisis〉

Chapter 4 A Theory of Currency Speculation and the Asian Currency Crisis (Hisaya ODA)

Chapter 5 Sequencing and Fragility of Financial Sector (Miki TAKEDA)

〈Prescription by the International Communities〉

Chapter 6 The Role of International Institutions in the Asian Currency Crisis
(Yasuo GOTŌ)

Chapter 7 The Role of IMF in the Crisis Management (Chie KASHIWABARA)

Chapter 8 High Interest Rate Policy and Exchange Rate Stabilization (Kōzō KUNIMUNE)

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 501]

Published by the Institute of Developing Economies, 2000

3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba 261-8545, Japan

目 次

まえがき

序章 国際マクロ経済の基本的関係と本書の概観	国宗浩三	3
はじめに		3
第1節 生産と需要, 資本流出入		4
第2節 貯蓄投資のバランスと資本流出入		9
第3節 国際マクロ経済学のトリレンマと危機への対応		12
第4節 本書の概観		13
おわりに: 本書の意義と留意点		19

第I部 総論編

第1章 金融グローバル化とアジア経済危機	高阪 章	23
はじめに		23
第1節 東アジア経済の現況		25
第2節 金融市場のグローバル化と新興市場		26
第3節 新興市場のマクロ・ファンダメンタル		30
第4節 国内マクロ経済運営と国際資本市場		33
第5節 デフレ型危機管理の落とし穴		35
第6節 国際金融システムの脆弱性		39
第7節 「地域バイアス」への対応		42
まとめ		44
〔参考文献〕		45

第2章 アジア危機の本質，教訓と国際金融協力	円居総一	47
はじめに		47
第1節 アジア通貨危機の一般的構図		49
第2節 危機の実態とその基本構図		55
第3節 危機の主因としての銀行信用と危機の本質		60
第4節 アジア危機の教訓		70
第5節 資本移動規制と国際金融協力への示唆		74
〔参考文献〕		80

第II部 各論編

〈ケーススタディ〉

第3章 インドネシアにおける通貨危機と成長経路	渡辺慎一	85
はじめに		85
第1節 なぜ成長経路は通貨危機に対して脆弱であったか		87
第2節 なぜルピアの急落を防げなかったか		96
第3節 通貨危機に対して頑健な成長経路ができつつあるか		103
むすび		110
〔参考文献〕		113

〈危機のメカニズム〉

第4章 為替投機の理論とアジア通貨危機	小田尚也	115
はじめに		115
第1節 為替投機の理論		117

第2節 通貨危機の発生と伝播のメカニズム	126
おわりに	135
〔参考文献〕	142
 第5章 金融自由化の順序と脆弱性の問題.....	武田美紀...145
はじめに	145
第1節 金融自由化の目的と背景	146
第2節 インドネシアの金融自由化政策	152
第3節 金融自由化と規制の関係	165
第4節 マクロ経済の安定	170
まとめ	173
〔参考文献〕	175
 〈国際社会の対応と処方箋〉	
 第6章 アジア通貨危機をめぐる国際組織の役割分担	後藤康雄...177
はじめに	177
第1節 国際組織の対応の全体像	178
第2節 国際組織の機能のモデル的解釈	184
第3節 国際組織ごとの状況	187
むすび	199
補論 モデルのフレームおよび国際組織による対応の解釈	201
〔参考文献〕	207
 第7章 債務危機管理とIMFの役割	柏原千英...209
はじめに	209
第1節 IMFの役割の変容	210
第2節 IMF融資政策におけるキー・イシュー	213

第3節 IMF改革論議	218
第4節 IMFが果たすべき役割とは	223
おわりに	226
〔参考文献〕	228
第8章 為替レート維持と高金利政策	
——動学モデルによる批判的再検討——	国宗浩三 231
はじめに	231
第1節 モデルによる考察	234
第2節 その他の論点	245
第3節 先進国と途上国の利害相反	249
結語	253
補論（第1節への）	254
〔参考文献〕	257